

話題を提供してください！

伊奈庁舎秘書広聴課 ☎ 58-2111 (内線1202~1203)

※紙面の都合上、投稿いただいた情報が必ずしも掲載できるとは限りませんので、ご了承ください。

「林蔵の足跡を辿る旅」

写真展

樺太(サハリン)が島であることを確認した江戸期の探検家間宮林蔵が歩いた場所を紹介する写真展が、7月31日から8月29日まで市図書館で開催され、多くの方々が来館されました。

撮影者は、稚内市観光交流課長の斉藤正良さん。林蔵の海峡発見から200年を迎えた昨夏、自費で樺太を縦断しました。林蔵が大陸に向けて出向した北部のノト岬から望む海や、周辺の人々など60点を展示しました。

写真展をご覧になっていた、市内からお越しの塩路さんは



「最近、間宮林蔵に関する書を読んだ。実際に、林蔵ほどのようなどころを歩いたのか興味があって写真展に来た」と話してくれ、熱心に写真をご覧になっていました。

祝 毎日書道展入選

第62回毎日書道展の会友、公募およびU23部門(18~23歳)には全国から3万1896点が応募される中、市内からは、「公募・漢字II類」石塚紀子さん(谷井田)、「公募・かなII類」曾田由美子さん(西ノ台)、「U23・近代詩文書」岡部江里さん(絹の台)の3人の方が見事入選されました。おめでとうございま

石塚さんの声



毎日書道展は、私にとつて大きな目標だったので、今回の入選は、とてもうれしいです。書道は、書けば書くほど、学

四百年の伝統芸能「綱火」

「繰り込み」が行われたあと、「二六三番叟」高岡丸の船遊びが披露されました。

国の指定する重要無形民俗文化財に指定されている「高岡流綱火」「小張松下流綱火」が8月23日、24日にそれぞれ行われました。高岡流綱火では、手製の火花で、あたり一面が火の海と化す

べば学ぶほど奥が深く、書道の道はまだまだはるか遠いです。今回の入選を励みに、これからも書き続けていきます。

曾田さんの声



入選するとは思っていませんでしたので、ただただうれしいです。これも、自分ひとりの力ではなく師匠のご指導、家族の応援があったからこそ。筆を握っていると、毎日の忙しい日々を忘れさせてくれる。自分は何より字を書くことが好きなので、これからも大好きな書道が続けていきます。



高岡流綱火「繰り込み」の様子



小張松下流綱火の様子

小張松下流綱火では、「二六三番叟」「大利根川の舟遊山」「景清の牢破り」が披露されました。それぞれの綱火には、夏休み中の子どもたちや家族連れのほか、アマチュアカメラマンも多くおとずれ、400年の伝統を受け継ぐ綱火や夜空に打ちあがる奉納火花に魅了されました。